

3/5

消防春季点検式を挙行 静小6年生の代表を一日点検官に任命

平成28年境町消防春季点検式が、JA茨城むつみ本館駐車場において挙行されました。この点検式は、消防防災活動に従事する町消防団（加藤正則団長）の士気を高め、常に迅速で適切な活動が行えるよう人員・姿勢・服装と機械器具を橋本町長や倉持議員、来賓、近隣の消防団長らが点検するものです。

今年は、境町立静小学校6年生の染谷直輝さんと櫻井星菜さんが一日点検官を務めました。



消防点検を行う、橋本町長と、一日点検官に任命された静小6年生の染谷さん、櫻井さん

3/15

サイクリスト応援カフェ「CORG'S」が道の駅さかい敷地内にオープン！

境りパーサイドパークでBBQ施設などを運営するパーレイは、自転車を楽しむ人向けのサイクルカフェ「コグス」を「道の駅さかい」敷地内にオープンしました。アメリカ西海岸をイメージした開放感のあるおしゃれなオープンテラスは、サイクリングのひと休みにぴったりのロケーション。

一押しのホットドッグはボリューム満点。種類も豊富で、中にはさし茶を使ったものも。そのほか、ガーリックシュリンプや肉料理などおしゃれなワンプレートメニューも用意。プロテイン入りのドリンクなど本格的に自転車競技に取り組む人向けのヘルシーメニューもラインナップしました。

工具を自由に使えるメンテナンス場や、シャワールームなど、サイクリストが立ち寄りやすいサービスを設けました。貸出用に海外ブランドのロードバイク15台もそろえ、手ぶらでサイクリングも楽しめます。



自転車を「こぐ」から命名された「コグス」

2/20・21

「好き♡」を発表するっておきの日 第22回境町生涯学習フェスティバル

中央公民館において、各種講座や自主グループの皆さんが1年間の学習成果を発表しあう「境町生涯学習フェスティバル」が開催されました。2日間で全35団体が参加し、各教室のステージ発表、境一中・二中吹奏楽部の演奏、境高校演劇部による劇などが行われました。

歌やダンスや演奏など、子どもからお年寄りまで幅広い世代にわたる日頃の練習の成果の発表は、会場をひとつにし大いに盛り上がりを見せていました。

また、模擬店などの収益金128,860円が、災害支援金活動に役立てていただきたと、境町に寄付されました。

なお、4月1日（金）～10日（日）は、ふれあいの里において同フェスティバルの作品展が行われます。桜の花を見ながらぜひこちらもご覧ください。



▲参加者全員参加のフィナーレ ▲観客も一緒になって健康体操 ▲上品なベージュピンクの衣装で素敵な歌声を披露する、コーラス教室の皆さん

3/3

災害時に飲料水を無償提供 飲料メーカーの伊藤園と災害協定を締結

町では、飲料メーカーの伊藤園の協力のもと「災害時における支援・協力に関する協定」を締結しました。この協定により、伊藤園は、町の警戒対策本部が立ち上げられた時点で、町からの要請に基づき備蓄している飲料水を優先的に提供。備蓄用の飲料水のペットボトル（500ml）480本も無償提供してくれます。

さらに、災害発生時には、役場内にある伊藤園の自動販売機2台に収納されている飲料ペットボトル計1,000本が無償提供されます。橋本町長は昨年9月の豪雨災害の被害にも触れながら「協定を通し、災害対策の強化に邁進したい」と話しました。



災害協定を取り交わした伊藤園の橋本憲司地区部長（左）と橋本町長

2/19

3/2

茨城県さし茶手揉保存会が橋本知事と 会田守谷市長へ手もみ茶をPR

2月19日、伝統的な製茶技術による日本茶の品質を競う「第19回全国手もみ製茶技術競技大会」で最優秀賞を受賞した「茨城県さし茶手揉保存会」（根本宏紀会長）の会員や吉原英一坂東市長、橋本町長で、県庁を訪問し、橋本知事に受賞報告を行いました。

また、3月2日には、守谷市役所を訪問し、手もみ茶を会田真一市長にPRしました。橋本町長は「水で入れる手もみ茶は深みとコクがある。県西と県南がつながる守谷からPRを」と手もみ茶を宣伝しました。



知事（右から4番目）に受賞報告を行う、さし茶手揉保存会の皆さん



▲さし茶手揉保存会の、飯田さん（奥左）と野口さん（奥右）とともに守谷市を訪れ、会田市長（前右）に、奥深い味わいの手もみ茶を提供

2/20～26

「わくわく美術展」にて、 仲松章さんが茨城県知事賞を受賞

2月20日～26日、県立県民文化センターにおいて「第20回茨城県健康福祉祭いばらきねりん文化祭」が開催されました。60歳からの「わくわく美術展」では、日本画、洋画、彫刻、工芸、書、写真の6部門に、693名の応募があり、77名が入賞、「ぼく☆わたしのおじいちゃん☆おばあちゃんの絵コンクール」では、3,874点の応募があり、44名が入賞しました。

洋画の部では、茨城県知事賞に境町の仲松章さん「誕生」が輝きました。そのほか、吉田敬さん「門」、須長春代さん「胡蝶の舞…春」、関一男さん「焼けた根株」、中山波江さん「森の切株B」、工芸の部では斉藤勇さん「輪（花器）」、写真の部では渡辺一雄さん「思考す」が入選しました。



茨城県知事賞を受賞した、境町の仲松さん。作品名は、「誕生」

2/15

茨城県町村会・茨城県町村議会議長会による 自治功労者表彰

茨城県市町村会館において、県内各町村の発展に顕著な功績のあった方を対象に、自治功労者表彰式が行われ、境町から民間自治功労者として小松原康之助さん、仲村敏明さん、境町議会から内海和子さん、関稔さんの4名の方が受賞されました。

小松原さんは、境町商工会会長、総合計画の審議委員、自治金融委員長など21年間の永きにわたり商工行政の振興発展に貢献されました。また、仲村さんは、教育長をはじめ戦没者遺族の相談員、区長会会長として自治行政運営に貢献され、境町福祉協議会理事や現在も会長として活躍され、11年以上にわたり福祉行政の発展に貢献されています。そして内海さん、関さんは、12年の永きにわたり、境町議会議員として、地方自治の発展に寄与されています。



表彰を受けた（左2番目から）仲村さん、小松原さん（代理）、内海さん、関さん

2/16 2/19

関東・東北豪雨災害からの復旧に向けて 県内10市町が国・県に特別交付税増額要望

2月16日、関東・東北豪雨で被災し、災害救助法の適用を受けた県内10市町の首長らが、茨城県庁を訪れ、災害からの復興や被災者支援の拡充のために特別交付税の増額などについての要望書を橋本県知事に提出しました。橋本町長も「農業などのスピーディーな復旧・復興に向け、特段のご配慮を」と要望しました。

また、2月19日には、総務省にて、土屋正忠総務副大臣に要望書を提出しました。土屋総務副大臣からは「現地はいまだに大変な状況にあることは理解している。最大限努力する」と前向きな回答を得ました。



2/16 橋本県知事への要望活動の様子



2/19 土屋総務副大臣への要望活動の様子